

# EA21環境経営レポート

【活動期間：2020年4月～2021年3月】



**地球に優しい**  
NO-DIG総合エンジニアリング企業  
掘らない・壊さない・環境にやさしいを追求する  
インフラ設備のトータルソリューション



(第11版)

2021年9月6日

アイレック技建株式会社

## 目次

1. 会社概要	1
2. 登録の範囲	2
3. 環境経営方針	3
4. 実施体制	4
5. 環境経営目標	7
6. 環境負荷の実績（過去3年間）	11
7. 環境経営活動の取組み（2020年4月～2021年3月）と評価及び次年度の取組み	13
8. 地域社会との共生及び環境関連情報の公開による社内外コミュニケーション	30
9. 環境関連法規の遵守【環境関連法規の違反・訴訟等の有無】	31
10. 代表者による評価と見直し・指示	32

# 1. 会社概要

アイレック技建は、“地球に優しいNO-DIG総合エンジニアリング企業”として、非開削推進（エースモール）事業、非破壊探査（エスパー）事業、点検・リニューアル事業及び環境事業を4本柱として技術・商品開発に取り組み、『掘らない、壊さない、環境に優しいを追求する社会基盤設備のトータルソリューション事業』を展開しています

会社名	アイレック技建株式会社		設立	1987年6月23日
代表	代表取締役社長 飯田 敏昭		資本金	1億
所在地	本店	〒111-0034 東京都台東区雷門1-4-4 ネクストサイト浅草ビル Tel : 03-3845-8109 Fax : 03-3845-8119 URL : https://www.airec.co.jp E-mail : airec@airec.co.jp		
	支店等	北海道、東北、西日本営業本部、東海、中国、四国、高松、九州、茨城		
環境管理責任者	取締役 企画総務部長 古川 智章			
担当者	企画総務部総務課長 富田 利文 、企画総務部 高取 千絵 、安全品質管理部EMS担当 田中 祥乃			
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>①小口径推進機エースモールのレンタル及び施工</li> <li>②地下埋設物探査装置エスパー等のレンタル及び技術指導</li> <li>③管路マンホール診断・補修機器（PC/WJ、ケーブル撤去、MH首部補修等）のレンタル及び施工</li> <li>④設計コンサルティング[通信管路設計]</li> <li>⑤非破壊探査（地中埋設物・空洞調査、構造物調査等）</li> <li>⑥環境エンジニアリング（LED照明等）</li> <li>⑦建設材料及び建設物品の販売</li> </ul>			
許可登録	建設業 国土交通大臣許可（特-28）第14138号 （土木工事業、建築工事業、とび・土工工事業、電気工事業、鋼構造物工事業、舗装工事業、塗装工事業、防水工事業、内装仕上工事業、電気通信工事業） 建設コンサルタント登録 建29第4984号（道路部門） 測量業 登録第（5）-24904号			
社員数	157名（人材派遣社員含む）【2021年8月1日現在】		事業年度	2020年4月～2021年3月

## 2. 登録の範囲

本店及び本店以外の全事業所（10事業所）における業務並びに従業員を対象とする

アイレック技建(株)本・支店（EA21 対象全事業所）	
本店	〒111-0034 東京都台東区雷門1-4-4ネクストサイト浅草ビル6、7、8 F Tel : 03-3845-8109 Fax : 03-3845-8119
北海道支店	〒063-0823 北海道札幌市西区発寒3条6丁目1-10 NTT発寒ビル1 F Tel : 011-662-8109 Fax : 011-676-5105
東北支店	〒984-0022 宮城県仙台市若林区五橋3-2-1 NTT五橋第2ビル3 F Tel : 022-213-8109 Fax : 022-261-8119
西日本営業本部	〒550-0002 大阪府大阪市西区江戸堀1-22-17西船場辰巳ビル2 F Tel : 06-6443-8109 Fax : 06-6441-8119
東海支店	〒461-0004 愛知県名古屋市東区葵1-13-8アーバンネット布池ビル4 F Tel : 052-935-8109 Fax : 052-932-8119
中国支店	〒734-0004 広島県広島市南区宇品神田3-12-11宇品神田ビル Tel : 082-253-8109 Fax : 082-505-0080
四国支店	〒790-0808 愛媛県松山市若草町3-6 NTTコムウェア松山ビル5 F Tel : 089-986-8109 Fax : 089-933-9747
四国支店 高松ロケ	〒761-0301 香川県高松市林町2217-15香川産業頭脳化センタービル401 Tel : 087-814-7109 Fax : 087-814-5109
九州支店	〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前1-7-22第14岡部ビル5 F Tel : 092-415-1415 Fax : 092-415-1416
非開削推進事業本部 第二技術部	〒300-2657 茨城県つくば市香取台B47街区16 Tel : 029-896-3700 Fax : 029-896-3705
非開削推進事業本部 第二技術部(島名倉庫)	〒300-2655 茨城県つくば市島名501番地 Tel : 029-828-7716 Fax : 029-828-7717

### 3. 環境経営方針

#### 【 基本理念 】

アイレック技建株式会社は非開削推進(エースモール)、非破壊探査(エスパー)に関わる先端技術を開発・提供すると共に、点検・診断・リニューアルによる社会基盤設備の長寿命化及び環境・計測技術を展開するNO—DIG総合エンジニアリング企業であり、当社の事業が地球環境保全に貢献できる強みを発揮し続け、継続的に環境保全活動に取り組めます。

#### 【 基本方針 】

- (1)環境保全への取組みを企業経営の最重要課題の一つとして位置付け、企業活動の全ての領域で環境保全の向上に取り組めます。
- (2)当社の企業活動に関わる全ての環境関連法規を順守します。
- (3)事業活動に伴う環境負荷に対して、環境目標及び環境活動計画を作成して、環境保全に貢献します。
  - ①省資源・省エネルギー
  - ②廃棄物排出量の削減・再資源化
  - ③グリーン購入の推進
  - ④非開削推進、非破壊探査、点検・診断・リニューアル及び環境・計測技術による省エネルギー及び廃棄物排出量の削減
- (4)地域社会との共生を図り、社会貢献活動に協力するとともに、環境関連情報の公開により社内外とのコミュニケーションを図ります。

この方針は公開するとともに、アイレック技建株式会社の全社員の周知徹底します。

2020年7月1日

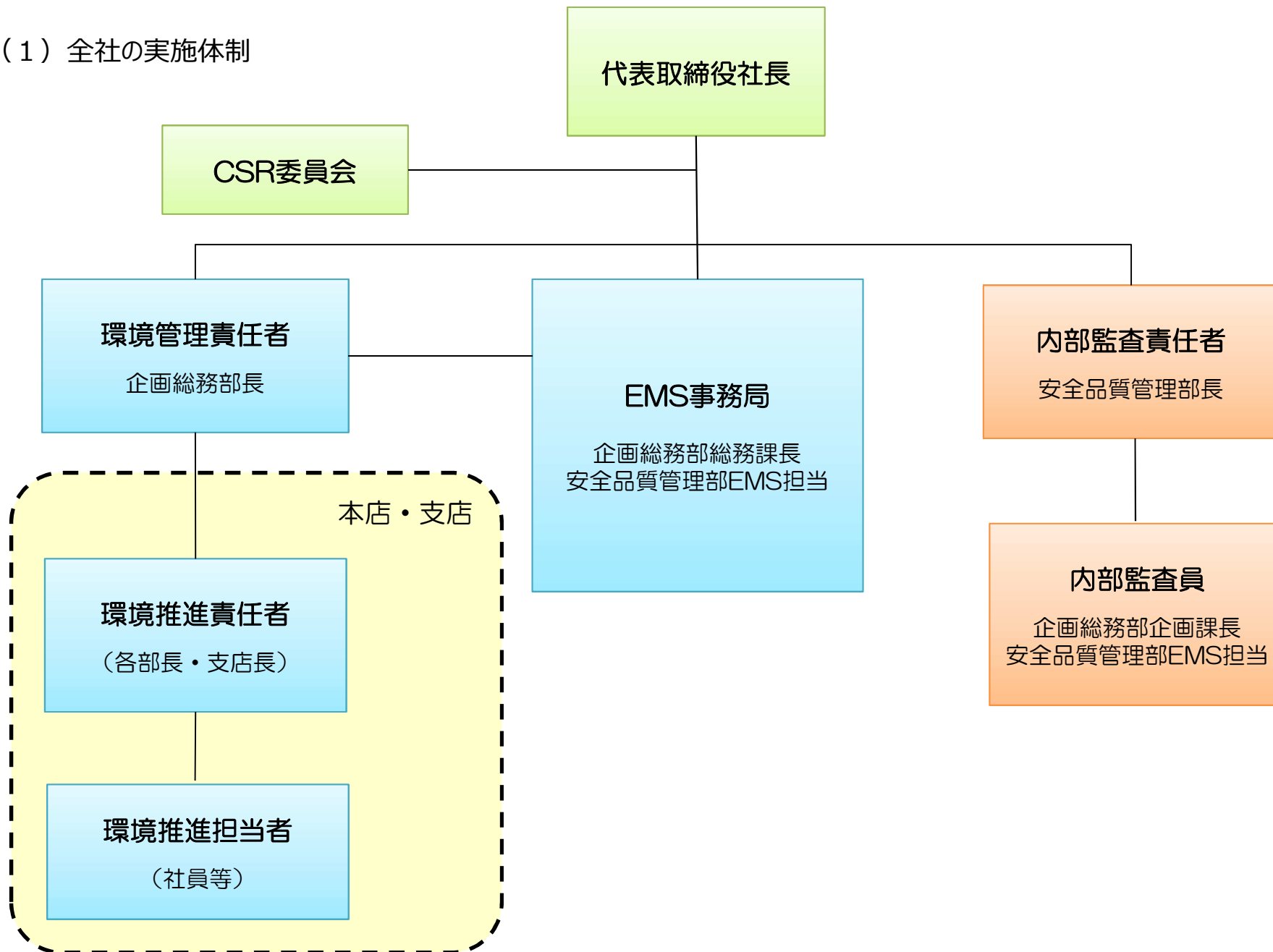
アイレック技建株式会社

代表取締役社長 飯田 敏昭



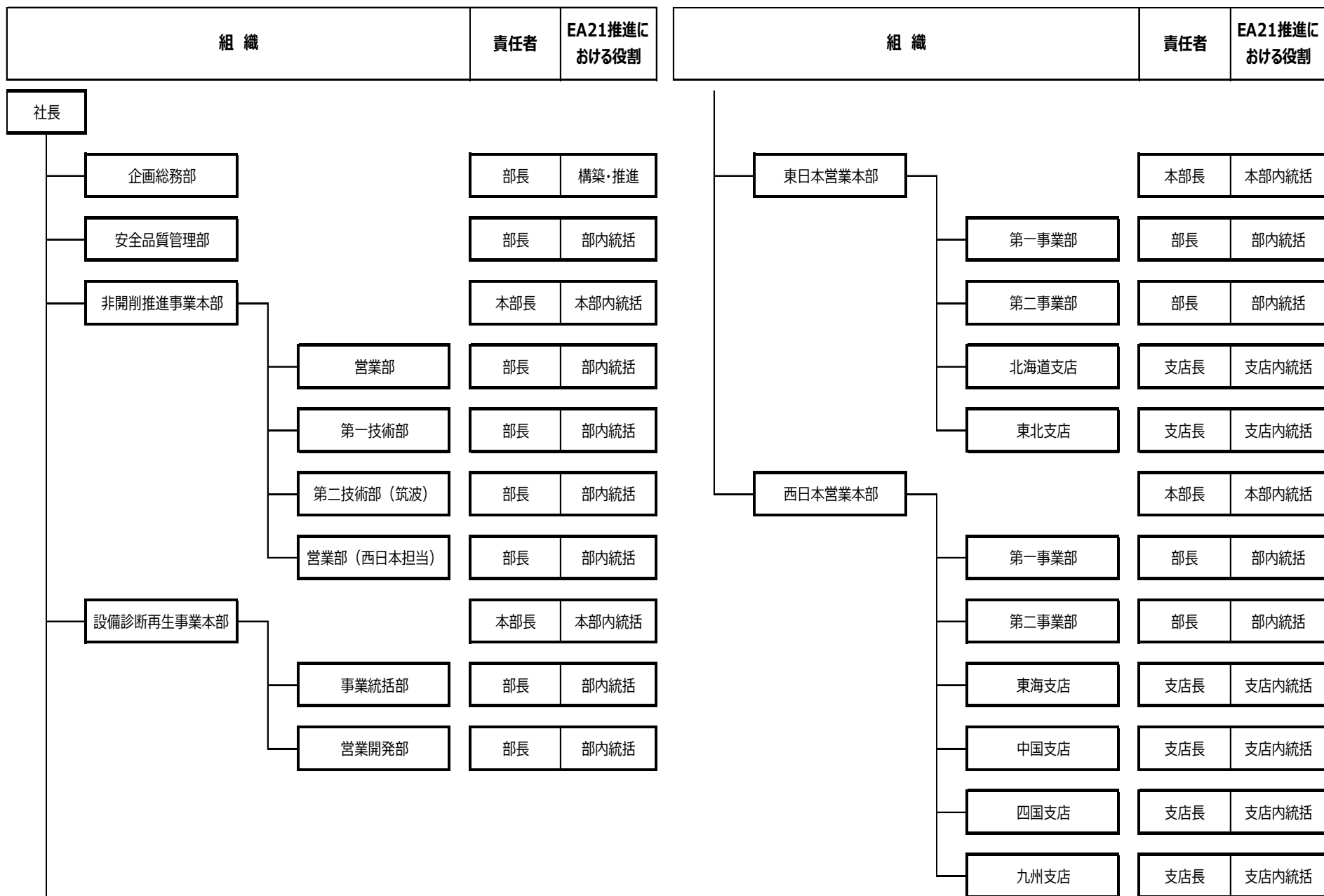
## 4. 実施体制

### (1) 全社の実施体制



組織	職位（役割・責任）
代表取締役社長	EMSの最高責任者
CSR委員会	会議メンバー：社長、企画総務部長、各本部長、安全品質管理部長 （議長：企画総務部長（環境管理責任者）） 【EMSに関する事項、進捗状況、成果を審議する組織】
内部監査責任者	安全品質管理部長 【内部監査に関わる計画、実施及び報告の責任者】
内部監査員	企画総務部企画課長、安全品質管理部EMS担当 【内部監査を行う監査員】
環境管理責任者	企画総務部長 【EMSの構築、推進をする責任者】
EMS事務局	企画総務部総務課長、安全品質管理部EMS担当 【全社におけるEMSの構築・推進】
環境推進責任者	本店各部長、各支店長 【各組織におけるEMSの構築・推進及びEMS事務局に実施結果を報告する責任者】
環境推進担当者	本店、支店におけるEMS推進者 【環境推進責任者を補佐し、各組織におけるEMSの構築・推進】
社員等	社員、契約社員、準社員、派遣社員 【EA21ルールに基づき運用】

## (2) 各組織（部・支店）の実施体制





## 5. 環境経営目標

### (1) 2020年度環境経営目標

全社取組目標	NO	項目	数値目標	具体的な取組
	1	二酸化炭素排出量の削減	2019年度比1%減	
	2	電気使用量の削減	2019年度比1%減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昼、残業時等不要箇所の消灯徹底</li> <li>・クールビズ、ウォームビズの推進</li> </ul>
	3	化石燃料（ガソリン）使用量の削減	2019年度比2%減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコドライブの徹底</li> <li>・環境適合車両の導入（リース更改時）</li> </ul>
	4	事務用紙の削減	実績把握※1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月のエコ印刷状況を把握する</li> <li>・エコ印刷率5%未満の対象者を1割減らす（2019年度 月平均20名）</li> </ul>
	5	廃棄物処理法及び建設リサイクル法遵守	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子マニフェストの推進</li> <li>・建設リサイクルの推進</li> </ul>
	6	エコ検定の取得促進	毎年1名以上は増やす	<ul style="list-style-type: none"> <li>・合格者の把握、共有（2020.3現在 21名）</li> </ul>
	7	「福島ひまわり里親プロジェクト」への参加	前年より参加者、収穫量 増 （2019年度 18名参加 2,850g 収穫）	
	8	CO2排出削減貢献量を、2030年までに自社排出量の <b>100倍</b> 以上にする	エースモール：13,000 t-CO2 イスパー：13,573 t-CO2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>イスパー、エースモール事業の削減貢献量の目標設定</b></li> </ul>

	組織名	取組目標
組織別取組目標	非開削推進事業本部（本店）	・打合せ時の資料電子化 ・紙の両面印刷 30% NUP印刷 10% 達成
	設備診断再生事業本部	整理整頓の徹底 “実施率90%以上”
	東・第一事業部	化石燃料(ガソリン)使用量の削減(2019年度より5%減) 2019年度下期更改のハイブリッド車の効果
	東・第二事業部	エスパー調査によるCO2削減貢献量5,037tを目指す
	非推本・第二技術部	「福島ひまわり里親プロジェクト」への参加&収穫量対前年比10%増
	西日本営業本部（非推本宮西 含む）	昼休みの消灯実施（実施率90%以上）
	北海道支店	・現場を伴わない出張は、極力公共交通機関利用の促進。 ・ECO運転の徹底によりガソリン使用量前年比▲1%
	東北支店	化石燃料（ガソリン）使用量の削減：2019年度比▲2%
	東海支店	化石燃料（ガソリン）使用量の削減：数値目標 対2018° ▲5%（2019目標継続） ①公共交通機関の活用（遠方は、公共機関+レンタカー）②ハイブリット車の燃費向上（電気で走る運転） ③急発進・急ブレーキ防止（かもしれない運転、十分な車間距離確保により、安全運転・エコ運転を継続）
	中国支店	ファイル共有、プロジェクトの活用と、全員の意識改革によりエコ印刷を推進し、 コピー/プリント枚数を対2019実績の▲5%を目標とする
	四国支店	紙の使用量削減：対前年比▲5%目標
	九州支店	ガソリン使用量を昨年度より▲3%
企画総務部・安全品質管理部	事務用紙使用量 対前年度比 ▲5%	

(2) 中長期環境経営目標（2020年度～2030年度）

## 《 アイレック2030 》



### 低炭素化している未来

- 私たちは社会のCO2排出削減貢献量を自社排出量の100倍以上とします



### 地球に優しい未来

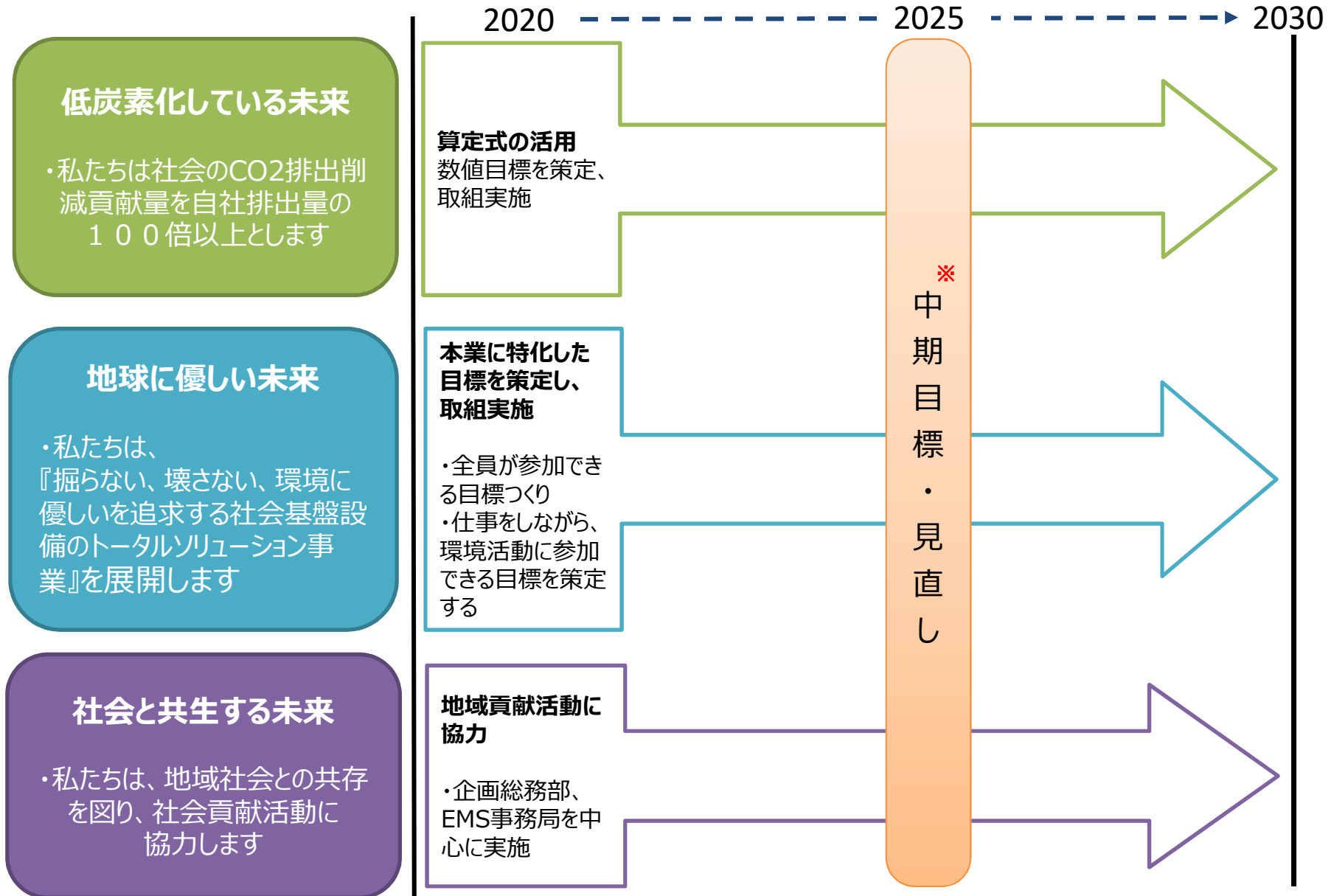
- 私たちは『掘らない、壊さない、環境に優しいを追求する社会基盤設備のトータルソリューション事業』を展開します



### 社会と共生する未来

- 私たちは、地域社会との共存を図り、社会貢献活動に協力します

# « Road to 2030 »



※ 2020年度～2025年度中期目標

- ・ 2025年までにCO2自社排出量を2020年度比2%減を目指す。
- ・ 売上目標達成によるCO2削減貢献量アップを目指す。

## 6. 環境負荷の実績（過去3年間）

環境への負荷		単位	2020年度 (4~3月)	2019年度 (4~3月)	2018年度 (4~3月)	
① 温室効果ガス排出量	二酸化炭素（注1）	Kg-CO <sub>2</sub>	287808	297960	356766	
	一般廃棄物					
② 廃棄物排出量 及び 廃棄物最終処分量	紙資源（シュレッダー・SSBOX）	t	4.32	5.67	6.23	
	紙以外	t	3.21	4.14	4.23	
	産業廃棄物	汚泥	t	109.14	87.25	53.42
		廃プラ	t	47.80	30.67	65.65
		廃プラ（石綿含有）	t	0.00	0.00	0.00
		木くず	t	0.00	21.89	9.39
		鉄くず	t	0.00	0.00	0.57
		金属くず	t	5.65	2.09	0.13
		紙くず	t	0.00	0.05	0.00
		ガラス	t	0.00	1.90	5.13
		グラスウール	t	0.00	0.00	0.00
		石膏ボード	t	0.00	0.25	0.55
		コンガラ	t	3.16	3.63	86.28
		Asコン	t	10.13	0.00	41.80
		コンクリート破片	t	0.00	7.92	0.00
		がれき（石綿含有）	t	0.00	30.84	0.00
		廃電気機械器具	t	0.00	0.87	0.00
		その他混合廃棄物(コンクリート)	t	1.46	0.09	0.00
		安定型混合廃棄物	t	0.00	4.32	3.90
		建設混合廃棄物	t	0.00	0.00	0.75
管理型混合廃棄物	t	0.00	5.08	5.27		
廃油	t	0.00	0.00	0.00		
水銀使用製品（蛍光灯）	t	0.00	0.00	0.00		
廃石綿（飛散性）	t	0.00	8.71	0.00		

（注1） CO<sub>2</sub>排出係数：2020年度電力係数代替値0.488kg-CO<sub>2</sub>/kwhにより算出

環境への負荷		単位	2020年度 (4～3月)	2019年度 (4～3月)	2018年度 (4～3月)
③-1 総排水量	下水道	m <sup>3</sup>	991(計量可能分)	1057(計量可能分)	858(計量可能分)
③-2 水使用量	上水道	m <sup>3</sup>	991(同上)	1057(同上)	858(同上)
	地下水	m <sup>3</sup>	—	—	—
④ 化学物質使用量	(キシレン、トルエン)	k g	0	0	0
⑤ エネルギー使用量	購入電力(新エネルギー除く)	kwh	407470	388034	434154
	化石燃料	ℓ	38299	46766	60837
⑥ 資源使用量	事務用紙	t	3.23	4.43	4.91
	プリンタートナー	本	67	90	146
	作動油	ℓ	6400	16000	17560
	ギヤオイル	ℓ	640	740	380
	酸素	ℓ	8	20	0
	塗料(水性塗料)	k g	495	265	780
	クーラント	ℓ	700	400	0
⑦ 主要環境技術(注2) (CO2削減効果)	非開削推進工法(エースモール)	t-CO <sub>2</sub>	△13700	△12700	△12200
	非破壊探査(エスパー)	t-CO <sub>2</sub>	△10900	△10600	△7200

(注2) 従来の算定よりも正確に把握するために、CO2原単位の算定を2018年度より変更。

- 削減量算定方法 引用元：LCIデータベース IDEA version 2.2  
 国立 研究開発法人 産業技術総合研究所  
 安全科学研究部門 社会とLCA 研究グループ一般社団法人 産業環境管理協会

※IDEA… IDEAは(一社)産業環境管理協会よりリリースされているデータベースである。  
 弊社で使用していた3EIDはマクロな評価をするのには向いているが、  
 算定精度が低かった為、3EIDと比べて登録されている原単位の種類が多い  
 IDEAを使用して 算定対象に合わせた正確な算定結果を得ることにした。

- 4事業部のうち「非開削推進事業」と「非開削探査事業」の2事業部を掲載。  
 「点検リニューアル事業」と「環境計測事業」については順次、算定ロジックを見直したのち掲載予定。

## 7. 環境活動の取組み（2020年4月～2021年3月）と評価 及び 次年度の取組み

### （1）二酸化炭素排出量（CO2）の削減

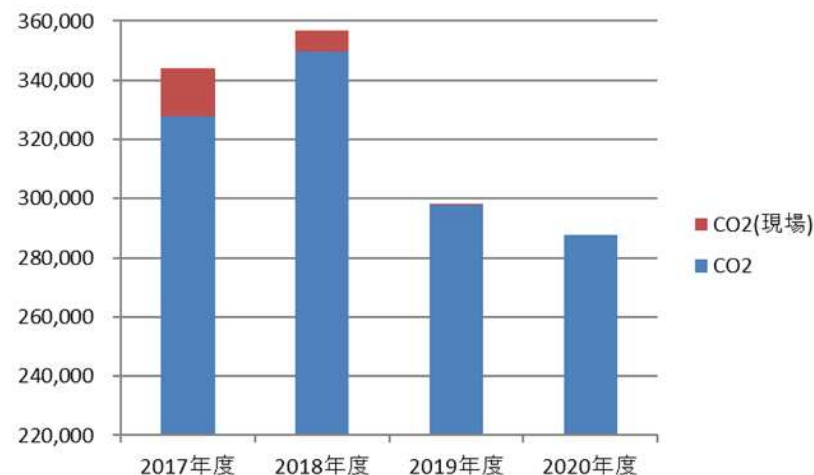
**2020年度目標：前年度（2019）実績対比 ▲1% ⇒ 対前年度比 ▲3% 目標達成**

(kg-CO2)

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
CO2	327,818	349,679	297,781	287,808
CO2(現場)	16,342	7,087	179	0
合計	344,160	356,766	297,960	287,808

※2017年度は、沖縄 米軍工事にて使用した軽油（6,334 l）含む。  
 ※2018年度は 沖縄 米軍工事にて使用した軽油（2,747 l）含む。

(kg-CO2)



### 《二酸化炭素排出量内訳》

		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
購入電力		kWh	418,097	434,154	388,034	407,470
化石燃料	灯油	L	7,952	4,423	0	40
	液化石油ガス (LPG)	kg	40	48	5	0
	ガソリン	L	46,066	45,403	46,159	37,786
	ガソリン(現場)	L	0	0	77	0
	軽油	L	8,639	8,264	510	465
	軽油(現場)	L	6334	2,747	0	0

※ガソリン...2017年度からレンタカー・自家用車も含むため、増加。

### 【要因】

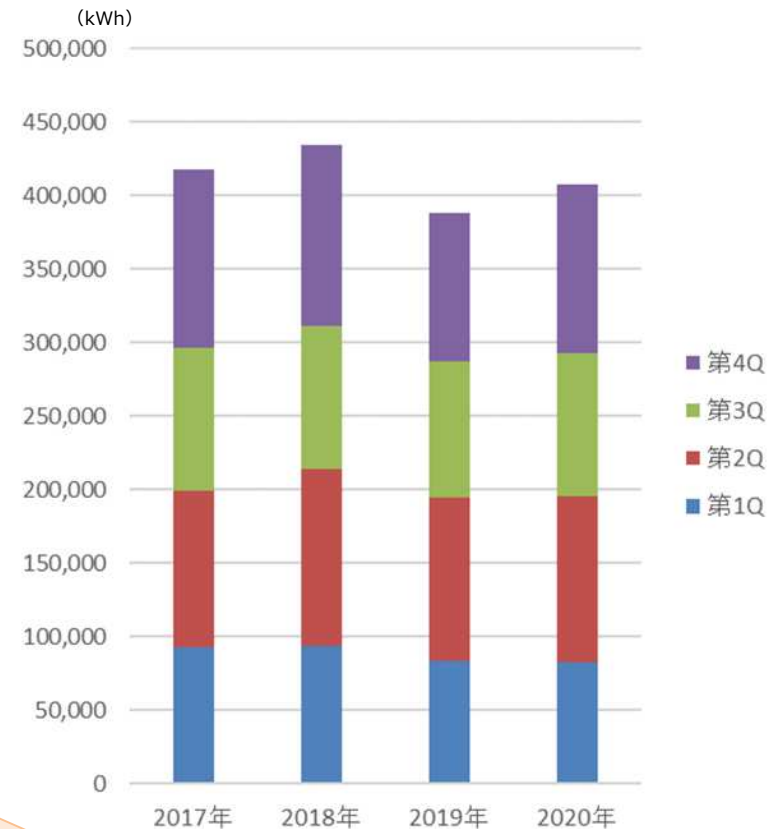
・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、不要な外出や出張が減り、ガソリン使用量が例年より大きく減少したため。



## (2) 電気使用量の削減

**2020年度目標：前年度（2019）実績対比 ▲1% ⇒ 対前年度比 +5% 目標未達成**

	(kWh)			
	2017年	2018年	2019年	2020年
第1Q	93,077	93,939	83,336	82,838
第2Q	106,339	120,160	111,607	112,896
第3Q	96,979	97,458	91,813	96,621
第4Q	121,702	122,597	101,278	115,115
合計	418,097	434,154	388,034	407,470



### 「削減に向けた取組み」



【室内LED照明】



【不要時の消灯徹底】



昼休みはフロアの消灯をしたら「○」をカレンダーに記入。実施できているか一目でわかるように掲示し、確認できるようにしている(西日本)

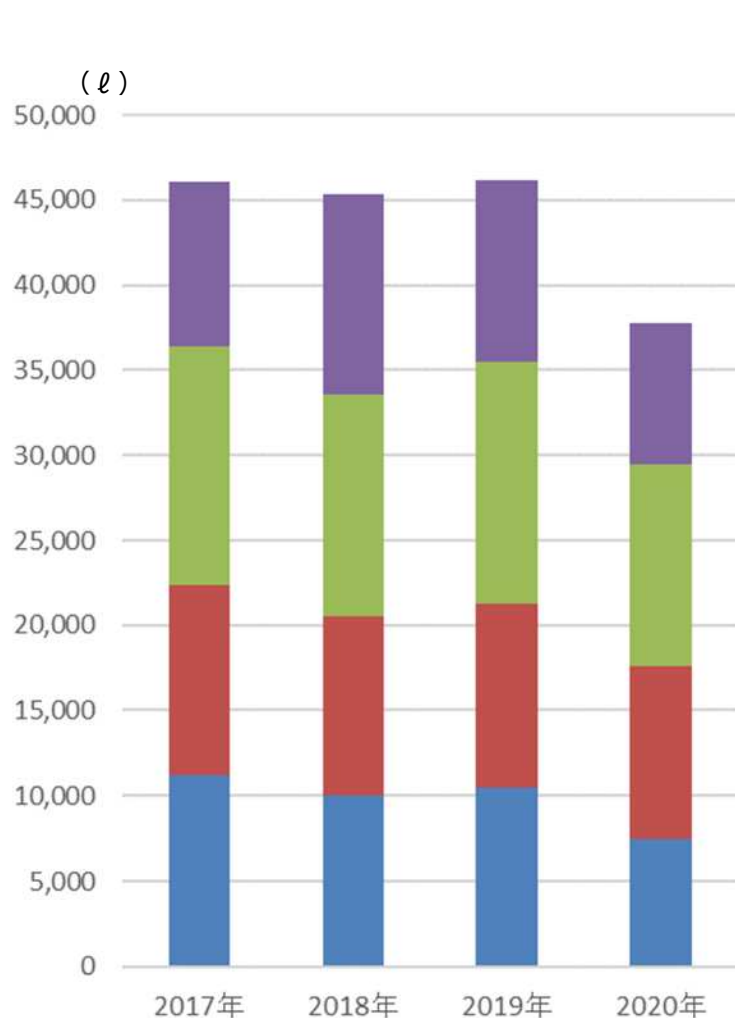
### 【要因】

- ・非推本・第二技術部(つくば工場)稼働増のため  
⇒再生エネルギーを利用した電力購入を検討し、環境負荷軽減を図る。
- ⇒各拠点の事務所内では削減に向けた取組みが実施できているので引き続き取り組んでいく。



### (3) ガソリン使用量の削減

**2020年度目標：前年度（2019）実績対比 ▲2%** ⇒ 対前年度比 ▲18% 目標達成



(ℓ)

	2017年	2018年	2019年	2020年
第1Q	11,192	10,032	10,440	7,507
第2Q	11,159	10,516	10,848	10,080
第3Q	14,100	13,037	14,210	11,926
第4Q	9,614	11,818	10,661	8,272
合計	46,066	45,403	46,159	37,786

#### 「削減に向けた取組み」

- 第4Q
- 第3Q
- 第2Q
- 第1Q

- ①カーナビ最短ルートの設定
- ②エコドライブの推奨
- ③社用車の積載重量軽量化
- ④環境適合車導入
- ⑤ドライブドクターの導入



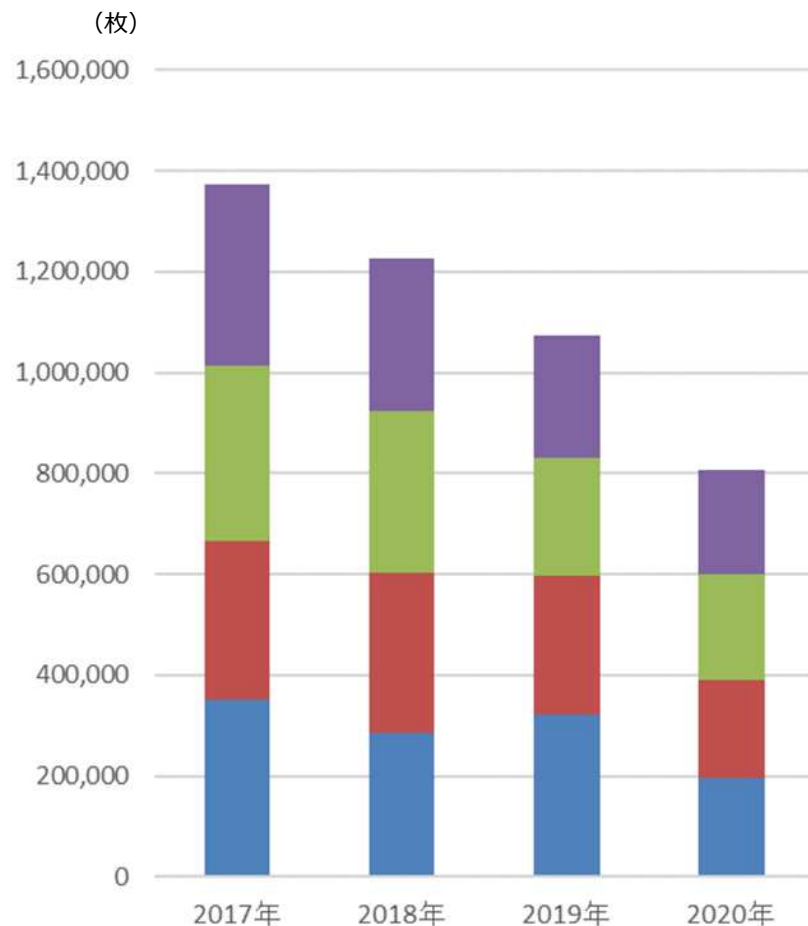
#### 【要因】

新型コロナウイルス感染拡大の影響により出張等を控えたため。  
⇒環境負荷軽減だけでなく、今後もリモートを活用することで  
移動時間の削減による社員の負担軽減につなげたい。

## (4) 事務用紙使用量の削減

### 2020年度目標：実績把握

(枚)



	2017年	2018年	2019年	2020年
第1Q	353,000	285,000	323,000	195,252
第2Q	313,000	317,500	273,000	195,134
第3Q	347,000	321,250	235,323	210,109
第4Q	360,500	303,000	241,790	206,351
合計	1,373,500	1,226,750	1,073,113	806,846

※2017年度～2019年度第2Q カウネット購入枚数

※2019年度第3Q～ 複合機による使用実績枚数へ変更

#### 《削減に向けた取組み》

- ①集約印刷（2up、4up）、両面印刷の励行
- ②電子決裁の導入
- ③ICTの活用…全国拠点間のTV会議の実施 等
- ④会議資料等はプロジェクター又はモニター使用の励行
- ⑤事務用紙使用枚数の集計データを関係者に送付し  
毎月の使用実績の振り返りに活用

#### 【要因】

- ・ 在宅勤務の導入や電子決裁、WEB会議といったICTを活用した取組みを積極的に取り入れていたため。
- ・ エコ印刷(両面・NUP印刷)未実施者が月平均20名⇒17名(対2019年度比▲16%)となったことから社員一人ひとりの削減への取組みと意識の向上がうかがえたため。

## (5) 廃棄物排出量の削減 及び リサイクル推進

### 2020年度目標：実績把握

#### ◆事業系一般廃棄物

(t)

##### 「削減に向けた取組み」

- ・自治体ルールにより分別処理
- ・SSBOXによる紙資源回収・リサイクルの実施



廃棄事務用紙計量・回収箱 (SSBOX)

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
シュレッダー	0.22	0.22	0.16	0.07
SSBOX	4.60	6.01	5.51	4.25
紙以外 (判明3ビル分)	4.62	4.23	4.14	3.21
合計	9.45	10.46	9.81	7.53

#### ◆産業廃棄物

(t)

##### 「削減に向けた取組み」

- ・関係法令の遵守
- ・作動油の有償譲渡及び再生利用による廃油量削減
- ・電子マニフェストの活用による適正処理

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
産業廃棄物排出量	336.98	295.32	205.56	177.34
最終処分量	148.98	53.42	95.96	109.14

## (6) 水使用量の削減

**2020年度目標：実績把握**

«削減の取組み»

- ・節水奨励、節水シール貼付
- ・当社単独の水道使用量を把握できる拠点が少ないが、全拠点において節水意識の向上

(m)

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
水使用量 (本店、西日本、非推・第二)	820	858	1057	991

※～2018年度 本店と西日本のみ把握。  
つくば工場移転により2019年度分から非推本・第二技術部の使用量を把握。

## (7) 化学物質使用量の削減

**2020年度目標：実績把握**

- 使用化学物質をSDSで確認⇒
- ①作動油・・・非該当
  - ②クーラント（エチレングリコール）・・・非該当
  - ③塗料及びシンナー・・・2014.8月以降水性塗料に切り替え済

現在は該当する項目はないが、継続して管理する

## (8) 事務用品のグリーン購入比率の向上

**2020年度目標：実績把握**

«削減の取組み»

- ・事務用紙は概ね環境配慮型を使用（古紙及び植林木パルプ等配合）
- ・グリーン購入については、コスト増の傾向を考慮し、可能な範囲で環境ラベル認定事務用品等の購入を推進する
- ・グリーン購入比率の継続管理を実施

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
グリーン購入比率	61%	58%	56%	45%

(9) 本業（4事業）における環境負荷低減技術

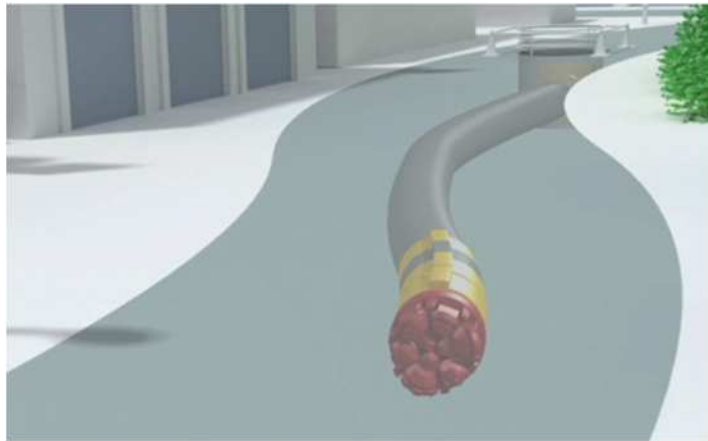
「非開削推進事業」「非破壊探査事業」「点検リニューアル事業」及び「環境計測事業」の各事業の推進により、温室効果ガス（CO<sub>2</sub>）及び建設廃棄物等の環境負荷低減を図っている



## ◆非開削推進事業

道路を掘削することなく社会基盤設備を構築します

【小口径推進工法 エースモール】



【改築推進工法 リバースエース】



### 《特長》

- ・玉石、岩盤を含む硬土質地盤に適用できます
- ・ユニークな位置検知方式と精密な方向制御機能により、長距離・曲線推進を実現します
- ・小規模立坑からの発進、到達が可能です

《2020年度CO2想定削減量》 13700 t -CO2

削減量算定方法 引用元:LCIデータベース IDEA version 2.2

国立 研究開発法人 産業技術総合研究所

安全科学研究部門 社会とLCA 研究グループ一般社団法人 産業環境管理協会

### 《サービス内容》

電気通信管路建設工事、上下水道建設工事、農業用水建設工事、電力管建設工事、ガス管建設工事、信号線建設工事、CATV管建設工事、熱供給管建設工事

## ◆非破壊探査事業

地面の中の埋設物や空洞を開削することなく調査をします



《特長》

電磁波法を用いることにより探査対象物の材質に影響されず、非開削での地下埋設物管調査、路面下空洞調査、遺跡探査等が可能

《2020年度CO2想定削減量》 10900 t -CO2

削減量算定方法 引用元:

LCIデータベース IDEA version 2.2

国立 研究開発法人 産業技術総合研究所

安全科学研究部門 社会とLCA 研究グループ 一般社団法人 産業環境管理協会



【iEsper】



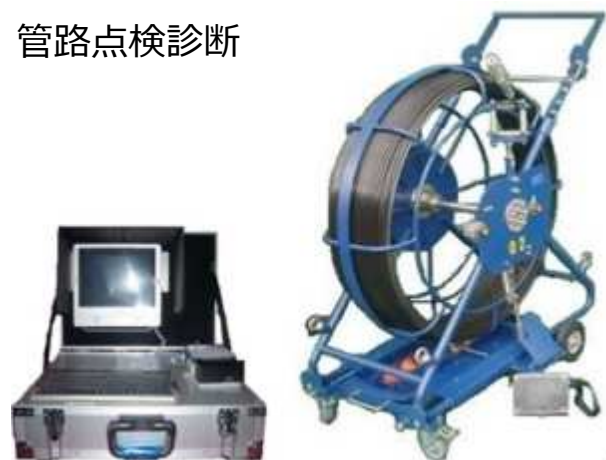
【ロードEsパー-3D】



## ◆点検リニューアル事業

安全で効率的な点検を実現し、既設設備を有効活用する非開削補修方法を提供します

### (A) 管路点検診断



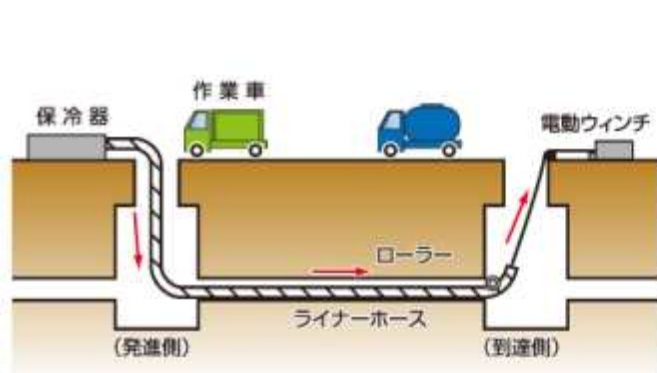
【小口径カラーハイビジョンスコープ】

#### 《特長》

既設管路の有効活用を目的として、通信ケーブル多条布設を判断するための管路点検装置

### (B) 管路非開削補修

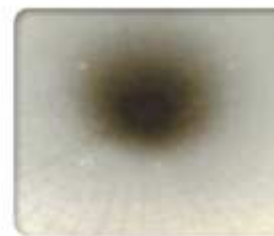
#### ①空管路補修技術



【管路ライニング技術】



ライニング前



ライニング後

#### 《特長》

「アイライナー工法（厚膜タイプ）」は熱硬化性樹脂を含浸させたホースを管路内へ引込挿入し、既設管路内に滑らか新しい管路を短時間で形成し、老朽・弱体管路を更生します



## ②ケーブル收容管補修技術

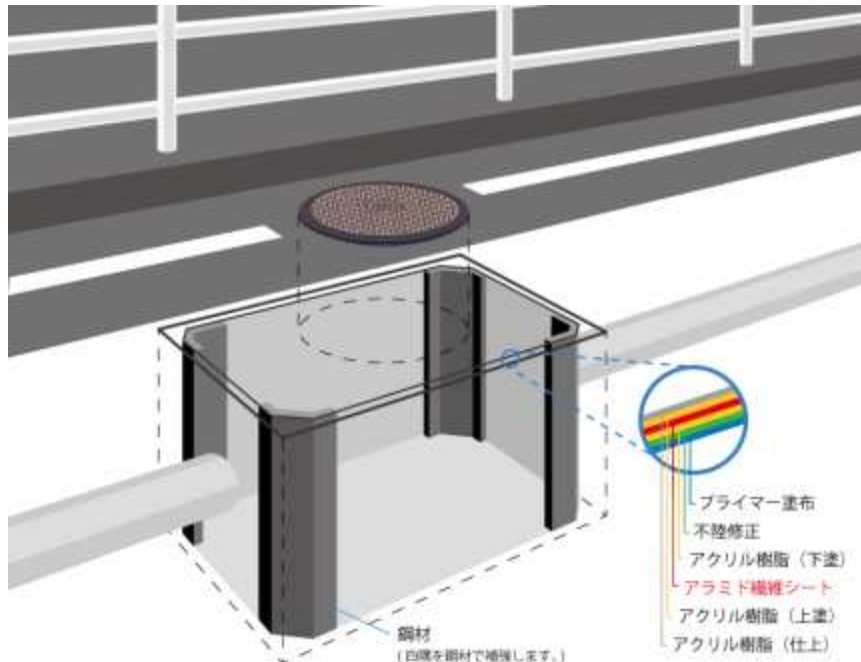


推進装置

### 《特長》

ケーブル收容管補修技術（PIT工法）は、ケーブルを收容したまま、ケーブルに影響を与えずに不良管路を再生し、新たなケーブル收容スペースを創出します

## (C) 構造物補修・補強（MH・HH補強）



### 《特長》

アイマット工法は路面荷重の改訂（T-25）により、旧規格で施工された道路下コンクリート構造物の耐力不足を非開削により補強する工法で内面にアラミド繊維を貼付け、引張耐力を増加させます

- ◆老朽マンホールを再建可能
- ◆ケーブルが多い狭隘な状況でも施工可能
- ◆短期間で補強可能（約4～6日）
- ◆撤去、再構築と比較して経済的

## ◆環境計測事業

環境負荷の軽減を図り、クリーンな環境を技術で守ります。



【トンネル用防水型LED照明】

### 《特長》

高湿度などの厳しい環境下での使用に耐えるLED照明  
省エネに加え、長寿命のため玉交換の手間が大幅にカットできます

- ◆光を拡散させ、広範囲に均一な明るさで照らすことが可能
- ◆従来型40ワット蛍光灯と同等の明るさを実現
- ◆消費電力は蛍光灯の半分以下、寿命は4万時間
- ◆防塵防水性能はIP67で、厳しい環境下での使用にも耐久性が高い



(10) 環境経営活動取組目標に対する評価

全社取組目標	NO	項目	数値目標	具体的な取組	評価	取組結果について
	1	二酸化炭素排出量の削減	2019年度比1%減		○	2019年度 297,960kg-CO2 2020年度 287,808kg-CO2(対前年度比 ▲3%) 目標達成。化石燃料(ガソリン)使用量減のため
	2	電気使用量の削減	2019年度比1%減	・昼、残業時等不要箇所の消灯徹底 ・クールビズ、ウォームビズの推進	△	2019年度 388034kwh 2020年度 407470kwh(対前年度比 +5%) 主に第二技術部(つくば工場)の稼働の影響が大きかったため。
	3	化石燃料(ガソリン)使用量の削減	2019年度比2%減	・エコドライブの徹底 ・環境適合車両の導入(リース更改時)	○	2019年度 46160ℓ 2020年度 37786ℓ(対前年度比 ▲18%) 新型コロナウイルス感染予防のため、例年より出張等の機会が減ったため
	4	事務用紙の削減	実績把握※1	・毎月のエコ印刷状況を把握する ・エコ印刷率5%未満の対象者を1割減らす(2019年度 月平均20名)	○	※2019年度第3Qより購入枚数⇒使用枚数に変更。 2020年度実績 806,646枚 エコ印刷5%未満の対象者 月平均17名(▲16%)と目標達成
	5	廃棄物処理法及び建設リサイクル法遵守	—	・電子マニフェストの推進 ・建設リサイクルの推進	○	法令に則り、適切に処理している
	6	エコ検定の取得促進	毎年1名以上は増やす	・合格者の把握、共有(2020.3現在 21名)	○	2020年度 1名合格のため目標達成 2021.3現在 23名
	7	「福島ひまわり里親プロジェクト」への参加	前年より参加者、収穫量 増 (2019年度 18名参加 2,850g 収穫)		○	20名参加 3096g 収穫のため、目標達成
	8	CO2排出削減貢献量を、2030年までに自社排出量の100倍以上にする	エースモール：13,000t-CO2 エスパー：13,573t-CO2	・エスパー、エースモール事業の削減貢献量の目標設定	△	エースモール：13700t-CO2 エスパー：10900t-CO2 達成率92%のため未達成 引き続き売上UpによるCO2削減貢献量増加を目指していく

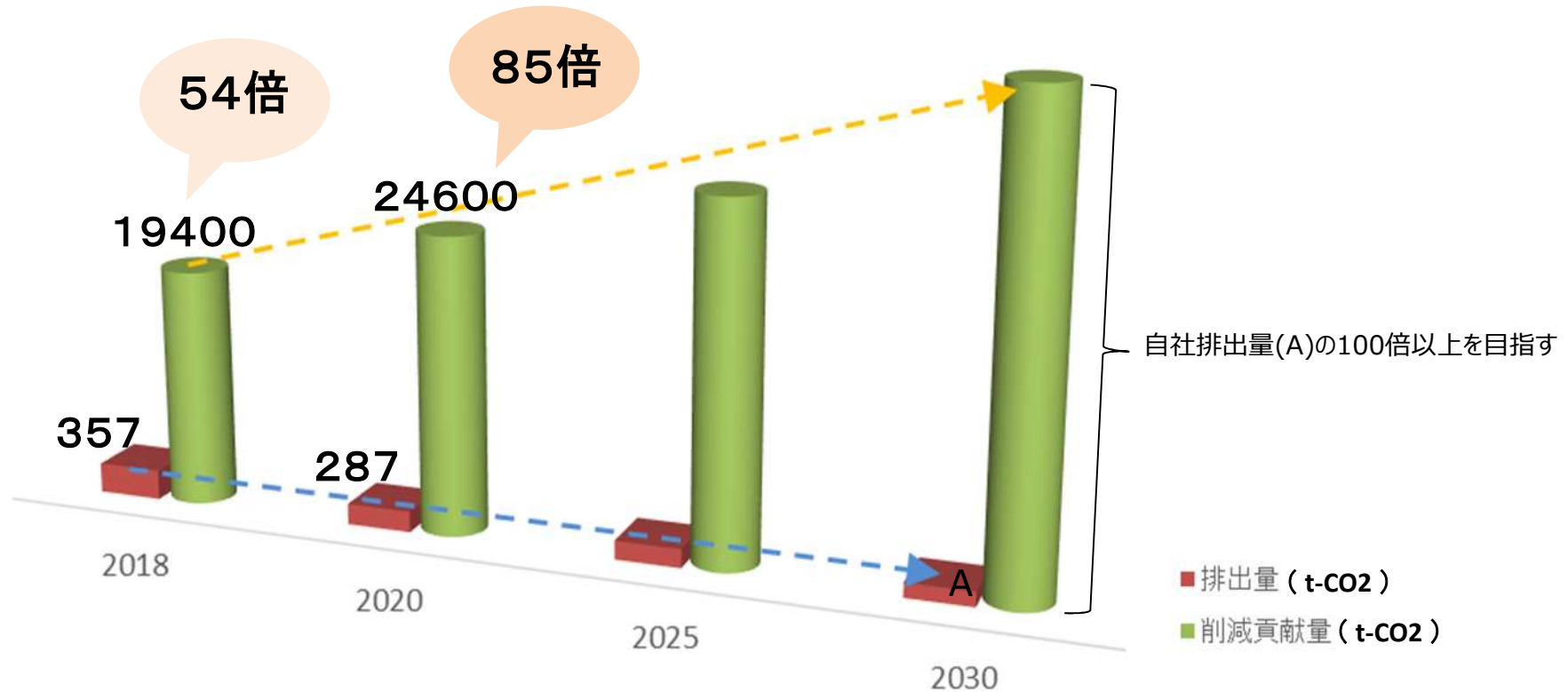
組織名	取組目標	評価	取組結果について
非開削推進事業本部（本店）	・打合せ時の資料電子化 ・紙の両面印刷 30% NUP印刷 10% 達成	○	・定例打合せでのモニター活用率100% 達成。 ・両面率：32% 達成 ・Nアップ率：8% Nアップ率は達成できず、達成まで残り少しという結果だが、モニター活用率・両面率ともに目標達成した。
設備診断再生事業本部	整理整頓の徹底 “実施率90%以上”	△	平均実施率は71%。最高実施率74%最低実施率68% 高い目標設定のため、業務が逼迫している中で整理整頓に時間をかけることが出来なかった。また新型コロナの影響により在宅勤務が増え、整理整頓の参加率が下がった。上記の反省点を活かして次年度の取組みについては月に1回の整理整頓の実施やキャビネット内や器具庫の保管場所の確保と保管物の管理者を明確にすることを実施していく。
東・第一事業部	化石燃料(ガソリン)使用量の削減(2019年度より5%減) 2019年度下期更改のハイブリット車の効果	◎	2019年度ガソリン使用 6769.40 ℓ 2020年度ガソリン使用 4819.45 ℓ ▲29% 工事量の減少とコロナによる移動制限の影響とが大きいものと考えらる。
東・第二事業部	エスパー調査によるCO2削減貢献量5,037tを目指す	×	CO2削減貢献量5,037tの目標に対して3,690tとなり、達成率73% 埋設物探査の受注売上が目標に対して未達であったためであるが、環境経営に取り組み観点から次年度も埋設物探査市場の受注拡大によるCO2削減に取り組んでいく。
非推本・第二技術部	「福島ひまわり里親プロジェクト」への参加 & 収穫量対前年比10%増	◎	参加者16名（全員） 収穫量：対前年比13%増（2020年度：3,050kg、2019年度：2,700kg）
西日本営業本部（非推本営西含む）	昼休みの消灯実施（実施率90%以上）	◎	今年度の実施率96%で目標達成となった。
北海道支店	・現場を伴わない出張は、極力公共交通機関利用の促進。 ・ECO運転の徹底によりガソリン使用量前年比▲1%	◎	2020年度は、前年比約30%減のガソリン使用料の結果となった。 下期にエースモールの請負工事1件で昨年より工程・規模が半分程度であった。また、遠方で調査の事前協議などの現場を伴わない出張は、極力電車を利用した。さらにコロナ対策でグループ会社間ではWEB会議の利用等が効果があったと考えられる。 売上と連動させた1%減の目標値に対しては、約37%減となり大きく目標を達成。
東北支店	化石燃料（ガソリン）使用量の削減：2019年度比▲2%	◎	2019年度実績：5003.24 ℓ ⇒ 2020年度実績：4406.74 ℓ ∴88.1%（▲11.9%） 東北支店内全社員が環境活動に関心を持ち意識的に取り組んだ結果です。
東海支店	化石燃料（ガソリン）使用料の削減：数値目標 対2018° △5%（2019目標同様） ①公共交通機関の活用（遠方は、公共機関+レンタカー）②ハイブリット車の燃費向上（電気で走る運転） ③急発進・急ブレーキ防止（かもしれない運転、十分な車間距離確保により、安全運転・エコ運転を継続）	△	2020年7月及び1月については、遠方でのエスパー調査等があり、使用量が増加した。（高速道路を使用した場合、高速運転ではガソリン使用の走行になるため燃費が低下する。） なお、取組み項目①②③については、意識合わせをおこない、確実に実施することができた。
中国支店	ファイル共有、プロジェクトの活用と、全員の意識改革によりエコ印刷を推進し、コピー/プリント枚数を対2019実績の▲5%を目標とする	○	対前年▲5%の目標に対して▲8%の実績で目標達成となった。（2019実績3500枚/月⇒2020実績2884枚/月）
四国支店	紙の使用量削減：対前年比▲5%目標	◎	対前年比▲27.6%という結果になった
九州支店	ガソリン使用量を昨年度より▲3%	○	コロナの影響で公共交通期間の減便等もあったため
企画総務部・安全品質管理部	事務用紙使用量 対前年度比 ▲5%	○	前年度実績 104,298枚⇒今年度 実績 95,066枚 前年度比9%減

組織別取組目標

## 中長期環境経営目標 達成状況

### ◆アイレック2030の目標について

2030年までにCO2削減貢献量を自社排出量の100倍以上にする ⇒2020年度 85倍を達成



### ◆中期目標 2020～2025年度について

- ・2025年までにCO2自社排出量を2020年度比2%減を目指す ⇒2021年度取組み目標に設定
- ・売上目標達成による削減貢献量アップを目指す ⇒2020年度は達成率92%と未達成であったが、2021年度も引き続き実施する

(11) 次年度の取組み

【2021年度環境経営目標】

全社取組目標	NO	項目	数値目標	具体的な取組
	1	二酸化炭素排出量の削減	2020年度比2%減	
	2	電気使用量の削減	2020年度比1%減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昼、残業時等不要箇所の消灯徹底</li> <li>・クールビズ、ウォームビズの推進</li> </ul>
	3	化石燃料（ガソリン）使用量の削減	2020年度比2%減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコドライブの徹底、環境適合車両導入（リース更改時）</li> <li>・WEB会議の導入による移動の負担を減らす</li> </ul>
	4	事務用紙の削減	2020年度比1%減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月のエコ印刷状況を把握する</li> <li>・電子データ化の推進</li> </ul>
	5	廃棄物処理法及び建設リサイクル法遵守	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子マニフェストの推進</li> <li>・建設リサイクルの推進</li> </ul>
	6	エコ検定の取得促進	毎年1名以上は増やす	<ul style="list-style-type: none"> <li>・合格者の把握、共有 (2021.3現在 23名)</li> </ul>
	7	「福島ひまわり里親プロジェクト」への参加	前年より参加者、収穫量 増 (2020年度 20名参加 3,096g 収穫)	
	8	CO2排出削減貢献量を、2030年までに自社排出量の100倍以上にする	エースモール：14000 t-CO2 エスパー：12000 t-CO2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業績、売上UPによる貢献量を増やしていく</li> </ul>



	組織名	取組目標
組織別取組目標	非開削推進事業本部（本店）	・打合せ時の資料電子化 ・紙の両面印刷 35% NUP印刷 10% 達成
	設備診断再生事業本部	整理整頓の徹底”実施率90%以上”
	東・第一事業部	化石燃料(ガソリン)使用量の削減(2020年度比 3%減)
	東・第二事業部	エスパー調査によるCO2削減貢献量4,000tを目指す
	非推本・第二技術部	①「福島ひまわり里親プロジェクト」への参加&収穫量対前年比10%増 ②電気使用量の削減 対前年比▲1%
	西日本営業本部（非推本営西 含む）	・エコ印刷（両面、N-up）割合の増加（2020年度比+5%） ・一般廃棄物量（シュレッダー袋、SSBOX）の削減（2020年度比▲5%）
	北海道支店	・現場を伴わない出張は、極力公共交通機関利用の促進。 ・ECO運転の徹底によりガソリン使用量前年比▲2%
	東北支店	化石燃料（ガソリン）使用量の削減：2020年度比▲5%
	東海支店	化石燃料（ガソリン）使用量の削減：数値目標 対2018°△5% （Withコロナ環境下で、2020°目標を継続する。） ①公共交通機関を極力活用する。（遠方は、公共交通機関+レンタカー） ②かもしれない運転、十分な車間距離確保により、安全運転&エコ運転を励行する。
	中国支店	エコ印刷に全員が知恵を出し、事務用紙使用量の削減を継続する。 対前年比 ▲5%を目標とする!!
	四国支店	紙の使用量削減 対前年比▲5%
	九州支店	ガソリン使用の削減：前年度比2%
	企画総務部	在宅勤務実施率：一人一月あたり20%以上
	安全品質管理部	リモート研修等実施によるCO2排出削減に貢献する（目標：▲400kg-CO2）

## 8. 地域社会との共生及び環境関連情報の公開による社内外コミュニケーション

EA21の活動を契機として、地域社会との共生・社会貢献活動及び環境関連情報の公開による社内外とのコミュニケーションを積極的に取り組む

### ◆社会貢献活動

- ①2010年度から節電の一環として、全社で「セタライトダウン」を実施
- ②本店ビル周辺の清掃活動（大江戸清掃隊）を2012年6月から毎月1回実施  
⇒今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止
- ③2017年度から「福島ひまわり里親プロジェクト」に参加  
⇒2020年度は3096g収穫(2019年度比8%増)



【大江戸清掃隊】



【福島ひまわり里親プロジェクト】



### ◆社外コミュニケーション

当社ホームページにEA21に係る環境活動及び本業における環境貢献の内容を掲載

### ◆社内コミュニケーション

- ①朝礼や社内会議等に於ける環境活動の周知及び社内システム上のメール及び共通ファイル閲覧により「EA21」活動の周知及びフィードバックを随時実施
- ②「環境社会検定試験（eco検定）」資格取得を推奨（2021年3月現在 23名保有）



## 9. 環境関連法規の遵守【環境関連法規の違反・訴訟等の有無】

関係法令	対象期間	該当する企業活動	遵守する事項	取組結果の評価	今後の取組み
・廃棄物処理法 ・建設リサイクル法 ・水質汚濁防止法 ・浄化槽法 ・有機溶剤中毒予防規則 ・PRTR法 ・消防法	2020年4月 ~ 2021年3月	(1) 産業廃棄物の排出	①廃掃法：産業廃棄物の適正処理委託・関係書類保管・マニフェスト発行管理・産業廃棄物管理票交付状況報告	○	引き続き環境関連法令の遵守に努める
			②建設リ法：特定建設資材廃棄物（コンクリート、Asコンクリート、木材）の再資源化	○	
		(2) 建設現場、工場における水質汚濁防止	①建設現場での濁水流出防止	該当工事なし	
			②事故等緊急事態時の措置	事故なし	
		(3) 化学物質の使用	①SDS（化学物質安全データシート）及びVOCの確認（PRTR法、大気汚染防止法、安衛法、有機溶剤中毒予防規則）	○	
			②PRTR法第1種指定物質の種類及び使用数量等確認【シンナー（トルエン等）】	水性塗料に移行済のため該当なし	
		(4) 可燃物の使用及び保管（軽油等）	消防法（少量危険物貯蔵取り扱い）	○	

◆活動を開始した2010年～2021年3月まで環境法令に関する違反及び訴訟はありません。

◆関係当局からの違反などの指摘、地域からの苦情等もありません。

## 10. 代表者による評価と見直し・指示

項目	変更	指示事項等	環境管理責任者の対応	
			実施日	内容
1.環境経営方針	無	継続実施	2021.6.16	継続実施
2.環境経営目標	無	継続実施	同上	継続実施
3.実施計画	無	継続実施	同上	継続実施
4.仕組み	無	達成状況等について社員周知	同上	継続実施
5.全体評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営活動は概ね成果を挙げていると評価する</li> <li>・「環境経営方針」及び「EMS（環境経営システム）」については、有効に機能しているとされるので継続して運用すること</li> <li>・達成状況や成功事例等についてデータを開示するなど社員周知を図ること</li> </ul>		
6.経営上の課題とチャンス	<b>課題(外部要因)</b>		<b>課題(内部要因)</b>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般市場拡大が停滞する中、NTT市場が縮小し続けていること。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般市場拡大に向けたNO-DIG技術の改良改善の意識が不足している。</li> <li>・NTTグループで必要な技術を継承すること。</li> </ul>	
	<b>チャンス(外部要因)</b>		<b>チャンス(内部要因)</b>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・NTTインフラネット社の子会社になり、一般市場拡大に向けた営業力強化が期待できること。</li> <li>・テレワークやDX化等による業務効率化やワーク・ライフ・バランスの見直しが進むこと。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境に優しいNO-DIG技術、機械類を保有していること。</li> <li>・改良、改善によって一般市場に活用できるNO-DIG技術や機械類を保有している。</li> <li>・技術が好きな社員が数多くいること。</li> </ul>	

## 環境経営レポート

2021年9月6日

アイレック技建株式会社 企画総務部  
〒111-0034  
東京都台東区雷門1-4-4  
ネクストサイト浅草ビル8F

(問い合わせ先)

E M S 事務局 富田      TEL 03-3845-8109  
FAX 03-3845-8119